

日本BS放送株式会社

2019年8月期 第1四半期

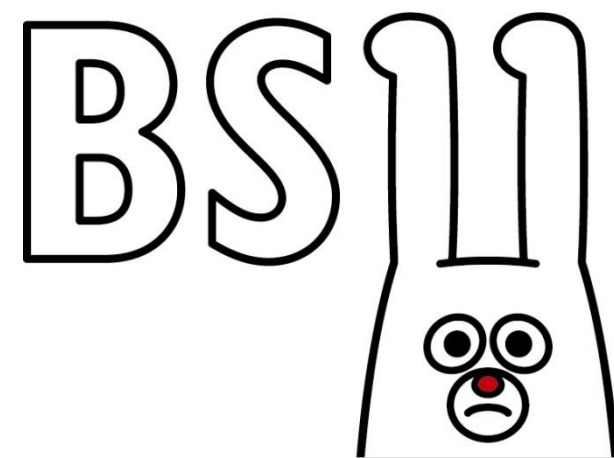
(決算補足説明資料)

2019年1月9日



東証一部 コード: 9414

I 決算概況



2019年8月期第1四半期 総括

売上高 **2,875百万円**（前期比 1.4%減）

営業利益 **433百万円**（前期比 41.8%減）

- 売上高は、10月番組改編による新番組増加（新規クライアント獲得と入替）及び業界環境の変化に伴い、前年・計画を下回って推移
- 良質な自社制作番組の更なる強化を図り、番組関連費用を積極的に投下
- 番組視聴世帯数増加を目的に、効果的な広告宣伝を実施
- 営業利益は、効率的な原価・経費使用に努め、計画を上回って推移

決算概要（連結）

（単位：百万円、下段は構成比）

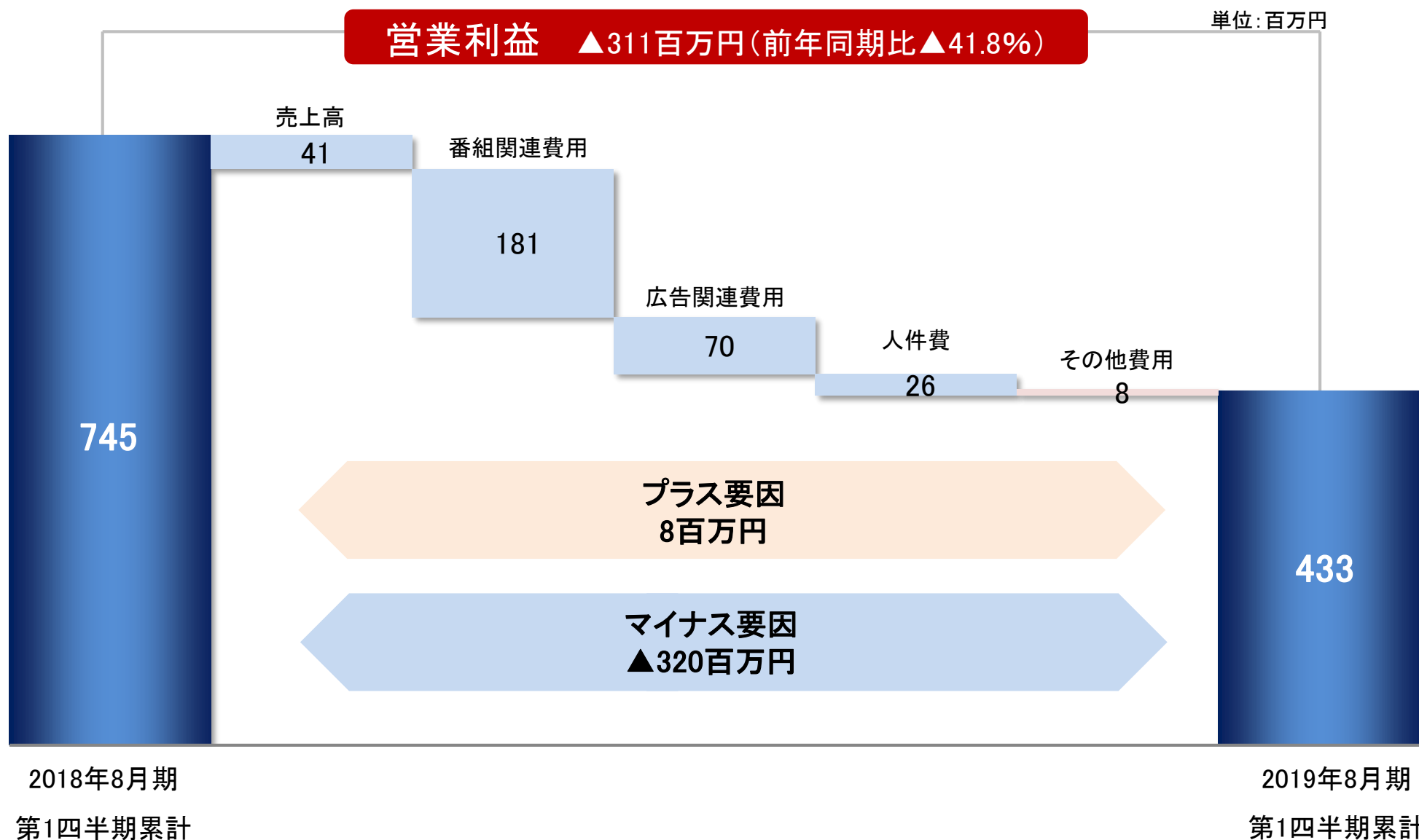
	2019年8月期 第1四半期累計		2018年8月期末	2019年8月期第1四半期末	
	実績			第1四半期	前年増減額
売上高	3,023 (100.0%)	流動資産	12,114 (63.1%)	11,878 (62.7%)	▲235
売上総利益	1,408 (46.6%)	固定資産	7,094 (36.9%)	7,071 (37.3%)	▲22
営業利益	437 (14.5%)	資産合計	19,208 (100.0%)	18,950 (100.0%)	▲257
経常利益	439 (14.5%)	流動負債	2,265 (11.8%)	2,043 (10.8%)	▲222
親会社株主に帰属 する四半期純利益	303 (10.0%)	固定負債	103 (0.5%)	97 (0.5%)	▲5
		負債合計	2,368 (12.3%)	2,140 (11.3%)	▲228
		純資産合計	16,839 (87.7%)	16,810 (88.7%)	▲29
		負債・純資産合 計	19,208 (100.0%)	18,950 (100.0%)	▲257

※2018年8月期第1四半期は、連結財務諸表を作成しておりません。

損益計算書の概要（個別）

（単位：百万円、下段は売上比）

	2018年8月期 第1四半期累計	2019年8月期第1四半期累計			
		実績	前年同期比	増減額	主な増減要因
売上高	2,917 (100.0%)	2,875 (100.0%)	▲1.4%	▲41	・タイム収入の減少・・・▲41百万円 ・スポット収入の減少・・・▲13百万円 ・その他収入の増加・・・+13百万円
売上総利益	1,547 (53.1%)	1,326 (46.1%)	▲14.3%	▲221	（段階利益） 《売上総利益の減少・・・▲221百万円》
営業利益	745 (25.6%)	433 (15.1%)	▲41.8%	▲311	・良質な番組制作、人気ドラマの購入等に伴う番組関連費用の増加
経常利益	746 (25.6%)	436 (15.2%)	▲41.5%	▲309	《営業利益の減少・・・▲311百万円》 ・広告関連費用を積極的に投下 ・業容拡大に伴う人件費の増加 ・その他経費項目を効率的に使用
四半期純利益	513 (17.6%)	300 (10.5%)	▲41.4%	▲212	



売上区分別実績（個別）

		2018年8月期 第1四半期累計	2019年8月期 第1四半期累計	
			実績	前年同期比
売上高		2,917 (100%)	2,875 (100.0%)	▲1.4%
	タイム収入	2,174 (74.5%)	2,133 (74.2%)	▲1.9%
	スポット収入	660 (22.6%)	646 (22.5%)	▲2.0%
	その他	82 (2.8%)	96 (3.3%)	+16.3%

主な増減要因

■ タイム収入

（番組提供）

- ・戦略的な番組改編の実施に伴うクライアントの入替により販売単価が減少。一方、新規クライアントの獲得に成功し全体のクライアント数は増加（ショッピング）
- ・中長期での売上増収を目指した総合編成（ショッピング枠縮小、一般番組等拡大）への改編により、販売件数は減少したものの販売単価は堅調に増加

■ スポット収入

（純広告）

- ・効果的な広告宣伝の実施による媒体価値向上に伴い、販売件数は堅調に増加（ショッピング）
- ・販売単価は堅調に増加したものの、業界環境の変化（ネットなどへの媒体変更）により販売件数が減少

■ その他

- ・アニメ製作委員会への出資に伴う配当金収入、番組販売に伴う収入等の増加

主要費用項目実績（個別）

（単位：百万円、下段は売上比）

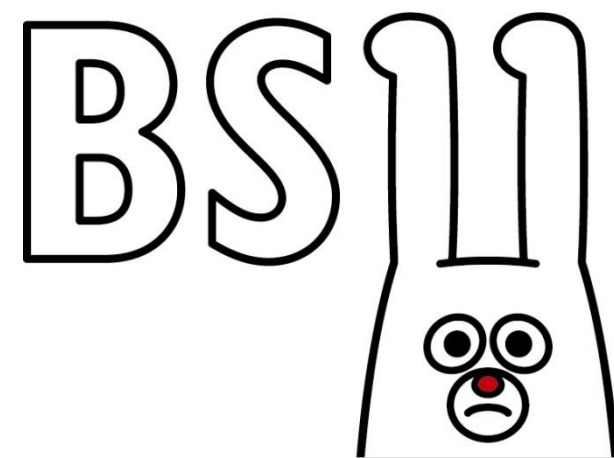
	2018年8月期 第1四半期累計	2019年8月期 第1四半期累計		
		実績	前年同期比	主要な増減要因
番組関連費用（原価）	888 (30.5%)	1,070 (37.2%)	+20.5%	
番組購入費	128 (4.4%)	206 (7.2%)	+60.0%	人気ドラマや映画等の購入による増加
番組制作費	759 (26%)	864 (30.1%)	+13.8%	良質な番組制作に伴う、キャスティングの選定や番組内容の更なる充実による増加
放送関連費用（原価）	159 (5.5%)	154 (5.4%)	▲3.1%	
放送委託費	138 (4.8%)	138 (4.8%)	—	
技術費	20 (0.7%)	15 (0.5%)	▲24.6%	
広告関連費用（販管費）	171 (5.9%)	242 (8.4%)	+41.3%	
広告宣伝費	152 (5.2%)	223 (7.8%)	+46.5%	番組視聴世帯数増加に向け新聞（全国・地方）やWEB等の広告宣伝を積極的に実施
販売促進費	19 (0.7%)	19 (0.7%)	▲0.3%	

貸借対照表の概要（個別）

（単位：百万円、下段は構成比）

		2018年8月期末	2019年8月期第1四半期末		
			第1四半期	前年増減額	主な増減要因
資産	流動資産	11,438 (61.7%)	11,184 (61.3%)	▲253	・現金及び預金の減少 ▲241百万円
	固定資産	7,092 (38.3%)	7,071 (38.7%)	▲21	
	資産合計	18,531 (100.0%)	18,256 (100.0%)	▲274	
負債	流動負債	1,594 (8.6%)	1,352 (7.4%)	▲242	・買掛金の増加 +84百万円 ・未払金の減少 ▲79百万円 ・未払法人税等の減少 ▲276百万円
	固定負債	85 (0.5%)	84 (0.5%)	▲0	
	負債合計	1,680 (9.1%)	1,437 (7.9%)	▲242	
純資産合計		16,851 (90.9%)	16,819 (92.1%)	▲31	
負債・純資産合計		18,531 (100.0%)	18,256 (100.0%)	▲274	

Ⅱ 通期計画



売上高は**14,000**百万円（前期比12.1%増）、営業利益は**2,005**百万円（前期比17.4%減）、
親会社株主に帰属する当期純利益は**1,400**百万円を計画（前期比15.6%減）

（単位：百万円、下段は構成比）

	2018年8月期		2019年8月期				
	第2四半期 累計	通期	第2四半期累計		通期計画		
			計画	前年同期比	計画	前年同期比	増減額
売上高	5,955 (100.0%)	12,494 (100.0%)	6,600 (100.0%)	—	14,000 (100.0%)	+12.1%	+1,505
営業利益	1,577 (26.5%)	2,427 (19.4%)	800 (12.1%)	—	2,005 (14.3%)	▲17.4%	▲422
経常利益	1,578 (26.5%)	2,425 (19.4%)	800 (12.1%)	—	2,005 (14.3%)	▲17.3%	▲420
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,069 (18.0%)	1,659 (13.3%)	550 (8.3%)	—	1,400 (10.0%)	▲15.6%	▲259

※2018年8月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2019年8月期第2四半期累計の前年同期比は記載しておりません。

売上高は**13,500**百万円（前期比12.4%増）、営業利益は**2,000**百万円（前期比17.2%減）、
当期純利益は**1,400**百万円を計画（前期比16.2%減）

（単位：百万円、下段は構成比）

	2018年8月期		2019年8月期				
	第2四半期 累計	通期	第2四半期累計		通期計画		
			計画	前年同期比	計画	前年同期比	増減額
売上高	5,955 (100.0%)	12,015 (100.0%)	6,350 (100.0%)	+6.6%	13,500 (100.0%)	+12.4%	+1,484
タイム収入	4,344 (72.9%)	8,742 (72.8%)	4,545 (71.6%)	+4.6%	9,621 (71.3%)	+10.1%	+878
スポット収入	1,451 (24.4%)	2,933 (24.4%)	1,576 (24.8%)	+8.6%	3,307 (24.5%)	+12.7%	+373
その他	159 (2.7%)	338 (2.8%)	229 (3.6%)	+43.2%	571 (4.2%)	+68.8%	+232
営業利益	1,606 (27.0%)	2,416 (20.1%)	835 (13.1%)	▲48.0%	2,000 (14.8%)	▲17.2%	▲416
経常利益	1,607 (27.0%)	2,420 (20.1%)	835 (13.1%)	▲48.0%	2,000 (14.8%)	▲17.4%	▲420
当期純利益	1,100 (18.5%)	1,670 (13.9%)	580 (9.1%)	▲47.3%	1,400 (10.4%)	▲16.2%	▲270

期末配当金を1円増配、20.0円を計画

配当政策の基本方針

- ・ 当社は、BSデジタル放送事業者という高い公共性に鑑み 永続的且つ健全な経営の維持に努めるとともに、財務体質の強化と内部留保の充実を考慮しつつ、将来の事業展開等を総合的に勘案した上で、長期にわたり**安定した**利益配当を**継続的に**実施する方針です。
- ・ **年1回**の期末配当を行うことを基本とします。

年間配当金

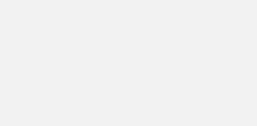
	2015年 8月期	2016年 8月期	2017年 8月期	2018年 8月期	2019年 8月期 (予想)
年間配当	15.0 円	17.0 円	18.0 円	19.0 円	20.0円
普通配当	13.5 円	17.0 円	18.0 円	19.0 円	20.0円
記念配当	1.5 円	0 円	0 円	0 円	0円
1株当たり当期純利益	68.34 円	82.04 円	85.27 円	86.50 円	78.64円

株主優待制度の概要

- ・ 8月末日、2月末日を基準日として、年2回の株主優待を実施
- ・ ビックカメラグループ全店で利用可能な「ビックカメラ商品券」1,000円券1枚を贈呈
- ・ 各基準日現在の当社株主名簿に記載または記録された当社株式1単位(100株)以上保有されている株主様が対象

長期保有株主優待制度の概要

- ・ 以下の2要件の両方に該当する株主様に対し、「ビックカメラ商品券」(1,000円券)を追加贈呈。
 - ①基準日(毎年8月末日、2月末日)の当社株主名簿に連続3回以上同一株主番号で記載または記録されたこと
 - ②当社株式1単位(100株)以上を継続して保有されていること

基準日		2月末日	8月末日
贈呈時期		5月	11月
贈呈内容	株主優待制度	 ビックカメラ商品券1,000円券1枚	 ビックカメラ商品券1,000円券1枚
	長期保有株主優待制度	 ビックカメラ商品券1,000円券1枚	 ビックカメラ商品券1,000円券1枚

持続的成長に必要な『4つの“力”』

企画“力”

プロデュース“力”

キャスティング“力”

マーケティング“力”

企画 **力**

Planning

視聴者やクライアントのニーズを捉え、的確な企画立案

キャスティング **力**

Casting

映像の「商品価値」を高めるスタッフ・出演者のキャスティング

マーケティング **力**

Marketing

データベースを用いて潜在的な需要を喚起し効果的に戦略実行

プロデュース **力**

Produce

皆様の役に立つ、質の高い情報・番組を提供・制作

重点施策としての『5本の矢』



1. 自社制作番組の充実と拡大

- ・ 人気番組に集中して資源を投下
- ・ 番組を「作品」から「商品」へと昇華



2. 情報番組の選択と拡大

- ・ プレミアエイジへのホスピタリティの強化
- ・ イベント等番組連動企画の立ち上げ



3. アニメ番組の強化

- ・ 得意分野の更なる強化
- ・ 目指すのは「アニメといえばBS11」



4. ローカル局とのコラボ

- ・ 独立ローカル局の強みを生かした差別化施策
- ・ 日本各地の「いいもの」を全国へ発信



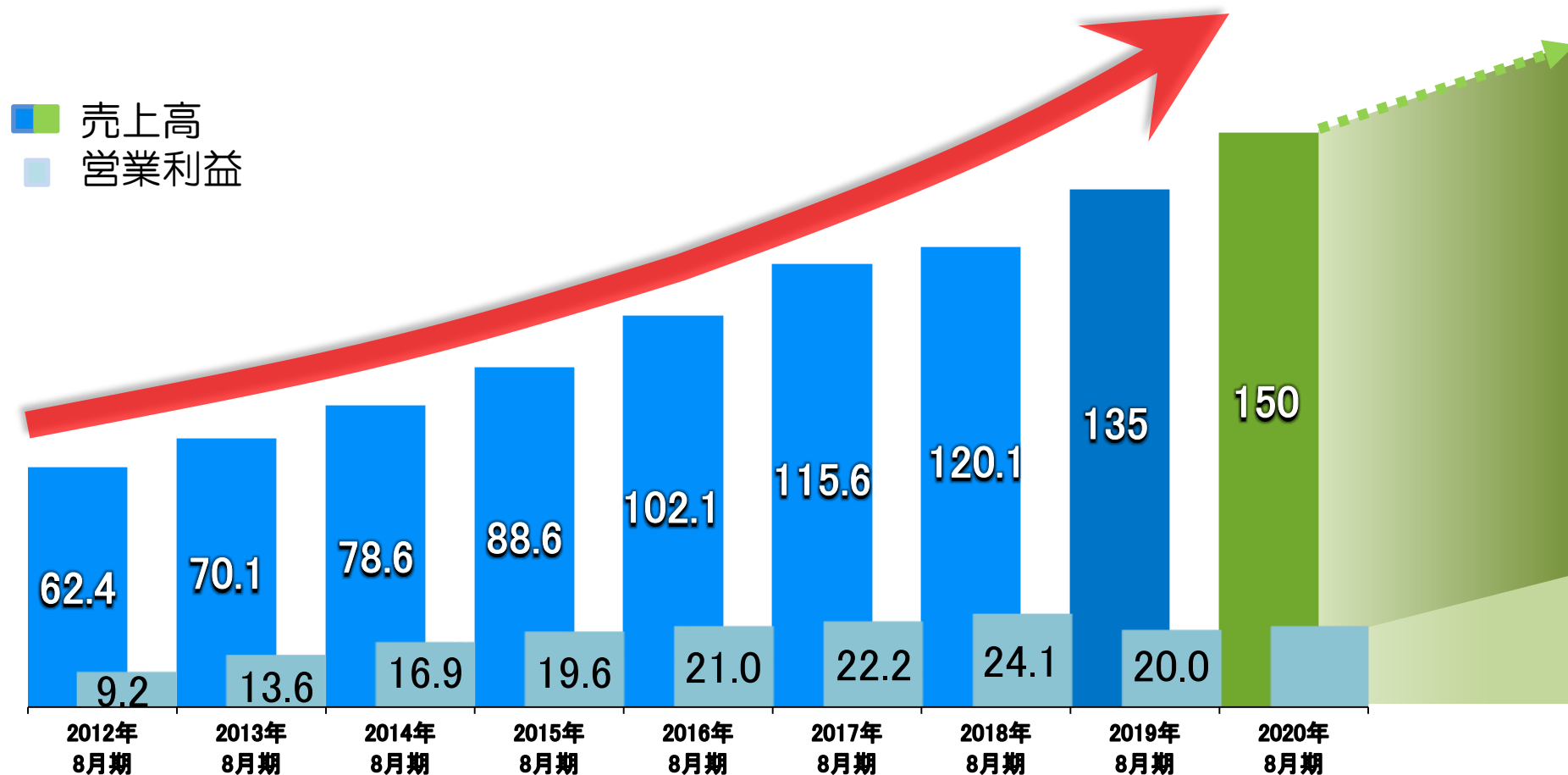
5. スポーツコンテンツの充実

- ・ 新たなニーズの発掘
- ・ 「BS11ならではの」のコンテンツ作り

2020年 売上150億円必達！ ～民放BS局トップグループへ！～

（単位：億円）

■ 売上高
■ 営業利益



10月番組改編 新番組（2018年10月から）

新

歴史
科学捜査班

毎週月曜 よる7:00～

新

フランス人がときめいた
日本の美術館

毎週金曜 よる8:00～

新

太田和彦の
ふり茶
新
居酒屋百選

毎週日曜 よる9:00～

人気番組（一部）ラインナップ

世界の国境を
歩いてみたら…
1st week A面
国境の今がわかる
ドキュメンタリー
2nd week B面
三歩先を行く
魅惑の国境旅
2週続けて見ると、国境の表と裏が丸分かり！

毎週月曜 よる8:00～

Anison Days
through the brilliant moment

毎週月曜 よる11:00～

あなたが出会った
昭和の名曲

毎週木曜 よる7:00～

ザ・チーム
勝ち負けの向こう側

毎週金曜 よる10:00～

➤ 視聴者の皆様のニーズを捉え、番組内容を更に充実！

アニメ番組の強化

◆製作委員会出資作品(2018年9月～2018年11月)



©川上泰樹・伏瀬・講談社／転スラ製作委員会



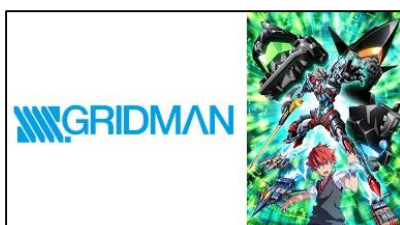
© Spike Chunsoft Co., Ltd./コンセプト製作委員会



(C)川田／集英社・「火ノ丸相撲」製作委員会



©2018 鴨志田 一／KADOKAWA アスキー・メディアワークス／青ブタ Project



(C)円谷プロ (C)2018 TRIGGER・雨宮哲／「GRIDMAN」製作委員会



©卯花つかさ・芳文社／アニメエール！製作委員会

➤ 当期製作委員会に出資した**6**タイトルを含め、約**40**タイトル以上のアニメ番組を毎週放送！

ローカル局とのコラボ

◆KBS京都と共同製作



撮影：相模友士郎

スポーツコンテンツの充実

◆2020年に向けて



➤ ローカル局とのコラボレーションを積極的に実施 ➤ BS11ならではの豊富なコンテンツをお届け

特別番組～11月11日（イレブンの日）放送～

◆開局11周年特別番組

～スポーツの未来を3部構成でお届け～



～当社主催eスポーツ大会の立ち上げから放送まで～



決勝トーナメントはBS11御茶ノ水本社で実施

➤ これまでになかった新ジャンル・編成で特別番組をお届け！

新たな施策（イベント等）

◆アニソン番組「Anison Days」

～文化放送～



～「アニメフィルムフェスティバル東京2018」～



イベント会場にて番組オリジナルグッズ発売決定！
オーイシマサヨシ、織田哲郎、鈴木みのりなど、
“超”破格なゲストと共にライブステージを実施

➤ 人気番組が様々なかたちでコラボレーション！

番組で放送された音源と番組内に入らなかった未公開トークなどを紹介



ビックカメラグループとのシナジー

◆番組収録・放送後の店内装飾・商品へのPOP展開



ビックカメラ名古屋駅西店からの番組収録をはじめ、人気声優の2人が名古屋をまちめぐり！仲良し2人ならではの散歩番組



番組放送後、声優さんが巡った場所の「リアルチェックMAP」を展示

※ビックカメラ名古屋駅西店



番組で紹介した商品へのPOP展開

◆ビックカメラ店頭放映



今どきの“スマートグッズ”と、とっておきのアイテムをご紹介



あべのキューズモール店



ビックロ ビックカメラ新宿東口店



ビックカメラ札幌店

◆ビックカメラグループ店舗で予選実施



選手たちの熱い戦いの様子をお届け



ビックカメラ名古屋JRゲートタワー店



ビックカメラなんば店



ビックカメラ天神②号館

➤ グループシナジーを最大限活用した“差別化”戦略

- ❑ 本資料は日本BS放送株式会社(以下、当社)の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- ❑ 本資料には当社の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。
- ❑ また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

日本BS放送株式会社

経営戦略局 経営戦略部

TEL 03-3518-1900

URL <http://www.bs11.jp/>

